

# 一貫教育校の広場

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢  
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院  
(高等部)

## フィンランドの中学校との交流プログラム

●普通部

教諭

やざわかずあき  
矢澤和明

二〇一二年度から普通部では、フィンランドの旧都トゥルク市にあるルオスタリヴオリ中学校「Luostari Vuoren Koulu」の相互訪問による交流を始めた。八月末に、まずは普通部から生徒十九名と教員三名がトゥルクを目指した。蒸し暑い日本の夏とは違い、フィンランドはもう秋の入口で、肌寒いくらいの爽やかな風が心地よい。生徒たちは、ホームステイをしながら学校に通って授業に参加し、午後や週末には、ホストファミリーと一緒にさまざまなアクティビティをして過ごした。はじめは緊張していた生徒たちも、一緒に食事をしたり、サウナを楽しんだりしているうちに打ち解けていった。左の写真は、首都ヘルシンキを観光したときの様子である。

に驚きと期待を抱いていたように思う。幅広い教科の授業に参加したので、三日間の訪問で五百四十名以上の普通部生がトゥルクの生徒と授業を受けた。右の写真は、トゥルクの生徒の好きな言葉を漢字一文字で表し、選択書道の生徒と合作をしたものである。作品はパネルに仕立て、お土産としてプレゼントした。また、トゥルクの学校には部活動がないので、放課後はさまざまなクラブ活動を体験してもらった。週末には箱根や京都に小旅行へ出かけたたり、東京スカイツリーに上ったりして、日本を満喫して帰国した。

二〇一三年二月には、夏に普通部生を受け入れた生徒のうち十七名と教職員三名が普通部を訪問した。外国からの生徒が通常の授業に参加するのは、普通部百十五年の歴史上初めてのことである。現役の生徒にとっては、男子校である普通部に外国の女子生徒もやってくること

の分らないフィンランド人と、フィンランド語の分らない日本人は、英語を使ってはじめて意思疎通できる。互いに外国語を使う点で、日本人とフィンランド人は対等である。テストで点を取るために英語を学ぶのではなく、世界中の人とつながるために英語を使おう、と生徒の意識が変わっていきげうれしい。普通部生とトゥルクの生徒の友情が続くことを願いつつ、縁あって始めたプログラムを地道に継続していきたいと思う。

